

ギマンに満ちた文学部教授会・大学当局を 断固弾劾する場として地理斗と教授陣との 団交を開催せよ!!

地理学斗争委員会

全ての地理学科に学ぶ学友諸君!

レポート斗争を先進的に戦って来た地理斗よりアピールを行ないたい
と思います。我々が過去一貫して主張してきた問題は現代資本主義社
会・体制化にある大学・学向がいかにゆがめられ、実質化を伴わな
いものであるかということバクロする過程で本質的に大学・学向
とはいかなるものであるかということであった。この向に初して地
理科の教授陣は一切答えないばかりか、当局と一体となって収拾
策動を行なって来たのである。例えばレポート試験という一種
の仕組みにより斗争圧殺や入学式・授業を行うことで日常性への
復帰を強制したのである。しかし我々はこれらの策動に屈せず
斗争拡大を計り、又その様な教授陣の態度を大衆的に糾弾し
問題点を露呈させ、徹底的な討論の場としての大衆団交を
要求する。全ての学友諸君、君達は体制からの被害者であると共に
その様な日常性カレールに乗ることが我々に対して斗争圧殺としての加害者
であることを認識しなくてはならない。全ての沈黙は体制加担に他
ならないのだ。今まで行なわれた学向の犯罪性を認知し、これまでの
様なスケジュールを一切認めず、共に斗の戦列に加わることを我々は
要請する。そのことが最も論理的な正当性でもって自己を確立するこ
となのだ。今までのようなギマンに満ちた自己とははっきり訣別しよ
うではないか。

S44・4・25